

熊本 S.J.C.D.例会 抄録

演 題 SJCD で学んだ臨床<これからも、守るべきもの>

演者名 小坪義博

日 付 2010年8月24日

keywords

1. 炎症のコントロール&咬合の安定
2. インプラント&審美
3. SJCD で学ぶ理由

抄録

私が SJCD に入会したのは、1992年に大阪 SJCD が最初です。

1995年に USC 研修で渡米し、その時に山崎先生に初めて直接お会いしました。USC 研修会場で、キム先生にもお目にかかり受講証を渡して頂ましたが、残念ながらキム先生の体調が良くなく、通訳は他の先生に変わられていました。当時から、キム先生、本多先生、山崎先生が言われていたのが、炎症のコントロールです。すべての歯科治療の根本は、ここにあると思います。その後、インプラント、審美治療と SJCD は素晴らしいレベルで発展して来ました。会員数も日本一の規模になり、治療レベルも世界に誇れる先生達が多く在籍しています。

その理由の、ひとつに山崎先生が言われるアカデミックフリーダムがあげられるでしょう。これからも、研鑽を積まれる先生達により SJCD はさらなる発展を遂げる事と思います。

そして、私が考えるもうひとつの大きな要因は『親睦』です。

実は、これが SJCD をここまで発展させた最大の理由だと思います。

本では理解出来なかったこと、講演で質問出来なかった事を、講師から直接教えて頂いたことが、いちばん実になっています。

この事が、今まで SJCD で学び続けた理由であり、これからも守り続けて行くべきものであると確信します。

今回、プレゼンを通して少しでもお伝え出来れば幸いです。